



そしてホイールは新たに16インチを設定したワークのエモーションCR20だが、これはただ径を小さくしましたと言っただけではなく、小径でもCR20らしくを表現するため、デザインをやり直したのゆえに径が小さくて大径を味わえるカッコさを実現してる。

そんな「もの作りのこだわり」に目を付けて選ぶ、これこそ真の大人買い、ぜひ参考にしてください。

旋回りの195履きと
渾身の小径化デザインの際張

少々ハムを舐めたパーツホイイスは個性を表現するには効果的だが、勢いだけで選んだパーツと小径するのはキツクやることだ。

大人がソレを行う場合、重視するのは「付けるパーツの質」である。大人を別の言葉に言い換えて「経験豊富」だ、それだけにキツとある。パーツは経験に基づいて選んだものでないとカッコが持たない。

という、ここぞ覚悟の36ワックスだが、ホイールはスバリ足も、径は16インチで、なんと195のタイヤを合わせているのだ。

これはシニビエールのデモカーで、タイヤを履くための9mmのオーパーフュンダーを付け（合法）、開発中の車高調整サスペンションでこの16インチを履かせるのだ。



完全、上質、高級、信頼……

おとなの選択

OTONA SELECTION

WORK

問 ワーク <http://www.work-wheels.co.jp>



ワークは最大ブレーキキットにも対応するコンケイブ形状、オーバーステア40mm、また6本キャンバーを付けて195を履かせる。



7.0Jから出す。このディープリムが最高の貫注を込めてくれる。

WORK EMOTION CR 2P

16インチが目を惹くデザイン

| SPC | 価格 |
|---------|-------------|
| 16x6.5J | 4万7850円 |
| 16x8.0J | 4万7800円 |
| 16x6.5J | 4万79680円 |
| 16x7.0J | 5万760円 |
| 17x6.0J | 5万2900円 |
| 17x6.5J | 5万4000円 |
| 17x7.0J | 6万2080円 |
| 9x11.5J | 4万3240円(HP) |

コンパクト設計、コンケイブ形状、そしてキャスト製法は製造上、固真な部分が多いと言いが、この16インチ版CR20はワークからの期待を、車初め高い高品質、高剛性を製造されているデザイン面でも目に注目したいのがスポークが長く見えるところ、リム部まで伸ばしただけでなく、センターホール部もナット位置ギリまでスポークを伸ばす。だから16インチながらも大径に見えるのだ。

径の常識を超える195タイヤ履き!!

2Pホイール&ディープリム7.0J

大人の選択、ホイール偏はインパクト重視のチョイスを紹介したい。ただし、バカ騒ぎ的なハーツチョイスではなく中身のあつた小径化するためデザインも練り直したというこだわりがそのポイントである。

深田昌之文 岡田幸一写真
Text by Masayuki Fukuda Photographs by Kichiro Okada



これも36ワルトに選ばれるエアリップ。無骨に見えるがアスボルトを倍3ピース構造。デモカー一履きのタイヤは195/40R16になっている。



このように突き出した形状のセンターキャップは旧車イメージでカッコいい。スポークの表面からのナットホールへの落とし込みデザインは最高です。

EQUIP 40

太いタイヤが似合う

装着サイズはフロントが7.0J-15のインセット22で、これに5mmのスペーサーを入れている。リアは7.0J-15のインセット20。キャンバーはフロントが4度、リアが5度付いている。こちらは軽カー用に15インチのランナップとなっている。あえて太めのタイヤを合わせるとなお車重っぽい履き方になる。

| SPC | 価格 |
|---------|----------|
| 15x5.5J | 4万71040円 |
| 15x6.0J | 4万72120円 |
| 15x6.5J | 4万73200円 |
| 15x7.0J | 4万74280円 |

COLOR
スプラントゴールド、フルタイムシルバー

